

1. 教育目標

骨髄での造血過程における異常は貧血、白血球減少、血小板減少等の血球減少を症候とする骨髄障害を引き起こし、一方、造血幹細胞の遺伝子異常は造血器腫瘍となる。また、血小板および凝固因子異常は、止血血栓系の疾患を起こす。血液病学では、これらの病態の診断および治療の向上にむけての研究を行う。また、造血幹細胞移植療法は、骨髄障害、造血器腫瘍の有力な治療法であり、更なる安全性・有効性の改善に向けた研究を進める。

2. 到達目標

- (1) 造血幹細胞の増殖、分化機構につき理解を深める。
- (2) 骨髄不全症の解析をすすめ治療について学ぶ。
- (3) 造血器腫瘍の解析を行い治療法を開発する。
- (4) 止血血栓疾患の解析と治療を行う。
- (5) 造血幹細胞移植について臨床研究を行う。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の習得度により行う。

課題におけるレポート提出（20%）、実験内容のレポート提出（15%）、口頭試問の実施（10%）、研究成果の発表（10%）、発表・討議の内容（15%）、臨床カンファでの発表（30%）

4. 教科書・参考書

特に定めないが、必要に応じて参考資料等を配布する。

5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（0.5～1時間程度）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【血液病学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	幹細胞概論	吉原 臨床教授 海田 助教	月曜/3限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	症例検討	吉原 臨床教授 澤田 講師	水曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	造血幹細胞採取、評価、保存	吉原 臨床教授 海田 助教	火曜/3-4限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞製剤作製	玉置 講師 井上 助教	木曜/3-4限	通年	4	共同研
実験 (臨床) 研究	血液凝固の基礎的研究	澤田 講師	金曜/3-4限	通年	4	2-5研究室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	造血器悪性腫瘍	池亀 講師 海田 助教	火曜/6-7限	通年	4	カンファレンスルーム
演習	文献抄読	吉原 臨床教授 澤田 講師	水曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	細胞製剤作製	玉置 講師 井上 助教	木曜/6-7限	通年	4	共同研
実験 (臨床) 研究	血液凝固の臨床	澤田 講師	金曜/6-7限	通年	4	2-5研究室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	症例検討	吉原 臨床教授 吉原 助教	水曜/5限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	骨髄不全症	玉置 講師 井上 助教	金曜/1-2限	通年	4	共同研

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	造血幹細胞移植	池亀 講師 海田 助教	月曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	文献抄読	吉原 臨床教授 澤田 講師	水曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	造血幹細胞移植	池亀 講師 海田 助教	金曜/6-7限	通年	4	共同研